

## 営業内容書（第4号様式）の書き方

- (1) 営業内容書の数字は、決算書の数値を千円未満切り捨てて記入してください。
- (2) 「業種別実績高」は、営業部門が2つ以上に分かれている場合は業種名ごとに、審査基準日の直前2か年の決算額を記入してください。
- (3) 「自己資本額」
  - ア 法人の場合
    - (7) 「資本金」欄の「直前決算期」は、当該決算の貸借対照表から資本金の額を記入し、「決算後の増減額」は審査基準日までにおいて増資等がある場合、資本金の増減額（減の場合は△をつける）を記入してください。
    - (イ) 「準備金・積立金」欄の「直前決算期」は、前記(7)と同様に貸借対照表から法定準備金（資本準備金、利益準備金等）と積立金の合計額を記入し、「利益処分（損失処理）」は、当期末処分利益の処分による準備金と積立金の合計額を記入してください。

なお、決算後審査基準日まで積立金を取り崩した場合は「決算後の増減額」に△印をつけて記入してください。
    - (ウ) 「次期繰越利益（次期繰越損失）」欄の「利益処分（損失処理）」は、当該決算により次期繰越利益（損失）として処分（処理）した額を損失の場合は△印をつけて記入してください。
  - イ 個人の場合

所得税確定申告決算書等から前記法人の場合の書き方に準じて記入してください。
- (4) 「常勤職員数」は、雇用期間を特に限定することなく代表者を有する役員及び事業主を含んだ者で、常時雇用されている職員数を記入してください。
- (5) 「流動比率」
  - ア 「流動資産」は、現金及び預金、受取手形、売掛金、有価証券、商品、製品、半製品、原材料、仕掛品、貯蔵品、前渡金、前払金、前払費用等の流動資産の合計額を貸借対照表から記入してください。
  - イ 「流動負債」は、支払手形、買掛金、短期借入金、未払金、未払費用、前受金、預り金、前受収益、負債性引当金等の流動負債の合計額を貸借対照表から記入してください。
  - ウ 「流動比率の計算」は、表示単位未満切り捨ててください。

例 123.5% → 123%

※物品等業のみ  
(企業団様式)

# 記載例 (太字体が記載例)

第4号様式

## 営業内容書

商号又は名称		<b>千葉 xxx 株式会社</b>					
営業品目	(出来るだけ詳細に記入し、特に指名を希望する場合は ○ で囲んでください)	主な仕入先メーカー	(特約店・代理店等はその旨と品目を記載した証明書を添付してください)				
	<b>文房具</b> <b>事務用機器</b> <b>家具</b> <b>室内装飾品</b> <b>建具</b> <b>電算機器</b> <b>OA消耗品</b> <b>カメラ・写真用品</b> <b>DPE</b>		xxxxxx、   xxxxxx、   xxxxxx、 xxxxxx、   xxxxxx、   xxxxxx、 xxxxxx	代理店証明等の添付を忘れずに			
営業所一覧	名称	<b>木更津営業所</b> Tel 0438-xx-xxxx	名称	<b>袖ヶ浦営業所</b> Tel 0438-xx-xxxx			
	住所	<b>木更津市 xxx 番地</b>	住所	<b>袖ヶ浦市 xxx 番地</b>			
	名称	<b>君津営業所</b> Tel 0439-xx-xxxx	名称	<b>千葉営業所</b> Tel 043-xxx-xxxx			
	住所	<b>君津市 xxx 番地</b>	住所	<b>千葉市 xxx 番地</b>			
名称	<b>富津営業所</b> Tel 0439-xx-xxxx	その他	<b>2ヶ所</b>				
住所	<b>富津市 xxx 番地</b>						
業務別実績高	希望する業種区分	直前第2年度決算より		直前第1年度決算より		平均年間実績	
		自 23年 4月 至 24年 3月	自 年 月 至 年 月	自 24年 4月 至 25年 3月	自 年 月 至 年 月	①+②+③+④ 2	
	<b>文房具</b>	① 80,000千円	② 千円	③ 60,000千円	④ 千円	70,000千円	
	<b>事務用機器</b>	110,000千円	千円	100,000千円	千円	105,000千円	
	<b>OA消耗品</b>	20,000千円	千円	10,000千円	千円	15,000千円	
	その他	40,000千円	千円	30,000千円	千円	35,000千円	
合計	250,000千円	千円	200,000千円	千円	225,000千円		
経営規模	自己資本額	直前決算期	利益処分 (損失処理)	計	決算後の増減額	合計	
		資本金	イ 50,000千円		50,000千円	千円	50,000千円
		準備金・積立金	(ウ) 13,300千円	(エ) 2,000千円	15,300千円	千円	15,300千円
		次期繰越利益 (次期繰越損失)		オ 3,000千円	3,000千円		3,000千円
		合計	63,300千円	5,000千円	68,300千円	千円	68,300千円
常勤職員数	技術関係職員数	事務関係職員数	その他職員数	合計			
	5人	12人	18人	35人			
経営状況	流動比率	$\frac{\text{流動資産 (カ 100,000千円)}}{\text{流動負債 (キ 70,000千円)}} \times 100 = 142\%$					
	年数等	創業休業等期間	現組織への変更	営業年数			
		昭和43年4月	年月～年月	年月	42年10月		

※営業所等一覧は千葉県内所在のみとし、多数の場合はその他〇ヶ所と記載してください。

ここは財務諸表(例)の数値を記入した記載例です。(ウ)(エ)は合計を記入します。実際の数値は申請者の財務諸表に基づいて記入してください。  
(例にあるカタカナ符号は記入しなくて結構です)